

令和5年度専門高校生徒の研究文・作文コンクール 「経済同友会賞」 研究文・作文各1編を顕彰

みんなで描く

みんなの未来
プロジェクト

経済同友会は1月19日、令和5年度専門高校生徒の研究文・作文コンクール(経済同友会・産業教育振興中央会共催)において、研究文・作文各1編を「経済同友会賞」に選出、表彰した。作品は本会ホームページで公開した。7回目となる今回は全国から研究文40編・作文260編の作品が寄せられた。



研究成果や仕事観が表現された作品を公募

本コンクールは2017年度より「みんなで描くみんなの未来プロジェクト」の一環として開始した事業で、産業教育振興中央会との共催で実施している。産業教育振興中央会は産業界、教育界との緊密な連携強化の下、専門的職業人の育成のために産業教育の振興・充実に取り組む団体で、会長は浦野光人・経済同友会元副代表幹事、理事長は杉江和男・同元学校と経営者の交流活動推進委員会委員長が務める。

応募対象は専門教育を主とする学科(専攻科を除く。総合学科を含む)に在籍する高等学校の生徒で、研究文と作文の各部門を設定している。研究文の部では専門教育に関する研究・実験・調査などの研究の成果を、作文の部では生徒個人が現に学んでいる専門教育での体験についての感想・決意・抱負・将来の仕事などをそれぞれテーマに掲げている。

令和5年度は研究文40編・作文260編の応募作品があった。日色保・学校と経営者の交流活動推進委員会委員長を審査委員長とする本会審査委員会の審査を経て、経済同友会賞として研究文1編・作文1編を選出した。

審査委員会 (所属・役職は開催時)

◆審査委員長

日色 保 学校と経営者の交流活動推進委員会 委員長
(日本マクドナルドホールディングス 取締役社長兼 CEO)

◆審査委員

齋藤 勝己 学校と経営者の交流活動推進委員会 副委員長
(東京個別指導学院 取締役会長)

白井久美子 学校と経営者の交流活動推進委員会 副委員長
(ユニアデックス 常務執行役員)

将来性の伸び代を重視

経営者視点で選出した秀作2点

経済同友会は経営者の視点から、生徒の一生懸命さや発想のオリジナリティーなど、将来への伸び代を重視して審査した。審査基準として以下5点を設定している。

- ①妥当性：適切な主張やテーマが設定されているか
- ②論理性：論旨が首尾一貫しているか
- ③独創性：発想にオリジナリティーがあるか
- ④説得力：全体構成および結論に納得性があるか
- ⑤将来性：成長が期待できるワクワク感があるか

以上の観点により、経済同友会賞として研究文の部からは、伝統工芸品である織物と染色の地域ブランド化と伝統継承への取り組みについてまとめた山口県立柳井商工高等学校の作品を選出した。

同じく作文の部からは、地元名勝地の松原への思いと、その松葉を活用した食品開発を通して得た自身の将来像を描いた作品を選出した。

なお、産業教育振興中央会は日頃の学習成果や文章の構成など学術面を重視して審査しており、前述2作品にはそれぞれ佳作と最優秀賞を授与している。

受賞作品と各審査員の講評、受賞者のコメントは次ページの通り。



令和5年度専門高校生徒の研究文・作文コンクール 「経済同友会賞」受賞作品

・研究文の部・

模擬株式会社山口魅来伝統工芸事業グループの 地域ブランド化と伝統継承の取組

作品はコチラ



山口県立柳井商工高等学校

建築・電子科3年：内山 叶仁、山本 悠月 同2年：岡本 陽太

ビジネス情報科2年：内山 花梨、清 実悠紀 ※産業教育振興中央会「佳作」受賞

審査講評

●学校や学科の枠を超えて協働する仕組みがユニークで、模擬株式会社を設立しての活動からは責任感や真剣度合いが伝わってくる。また、地域と協働して地域の魅力を伝えていくという活動の軸は少しもぶれることがない。実際の売り上げとして結果も出ているのは特筆すべき本研究の特徴だ。ずいぶん前から継続している活動と思われるが、今回の報告チームがそれまでの先輩たちが続けてきた活動に、新たにどのように付加価値を追加したのかなどといった点も、ぜひ聞いてみたいと思った。【日色】

●模擬株式会社山口魅来の活動はどれも「3つの理念」が具現化されていて、とても素晴らしい。また、活動のプロセスを通して、人のつながりを感じながら異なる人の強みを活かし合う、このような価値ある経験を得たこともとても貴重な。参加された皆さんにとって自身の未来を切り拓く力につながることを期待している。【齋藤】

●やまぐちハイスクールブランド創出事業としての伝統工芸事業創出と多角的な展開と、取り組み成果がまとめられている。模擬株式会社山口魅来を設立し、やまぐちのつながり／幸福と未来／魅力伝搬の経営理念までつくり、地域ブランド化戦略・伝統継承

戦略を実行し、事業創出後の周囲の反応や経済的成果までもが報告されている。事業創出の目的を参画者が明確に意識し、地域と連携しながら伝統工芸を継承しながらイノベーションを起こしてきた本活動は大変素晴らしく、近年における企業のパーパス経営に等しい。コロナ禍の制約環境にありながら、伝統工芸を活かす事業創出活動を学生中心で推進したこと、その成果を周知してきたことは称賛に値する。【白井】

受賞者のコメント

山本 悠月 (模擬株式会社山口魅来伝統工芸事業グループ
部長／建築・電子科3年)

令和5年度専門高校生徒の研究文・作文コンクールの研究文で経済同友会賞をいただき、ありがとうございました。先輩から続く模擬株式会社山口魅来の取り組みについて貴会から評価していただき、私たちの自信につながりました。今後も地域の方と専門高校生がタッグを組み、山口県の魅力ある地域資源を活かした研究を行い、全力で盛り上げていきたいと思っております。これからも社員一同でがんばります。

・作文の部・

あふれる想い、商品に込めて ～大切な地域の宝を次の世代に繋ぐ～

作品はコチラ



佐賀県立唐津南高等学校

食品流通科3年：小宮 妃奈 ※産業教育振興中央会「最優秀賞」受賞

審査講評

●出だしの文章が素晴らしく、すぐに引き込まれる。地元の誇りを守ろうという、明確で熱量の高い動機に感銘を受けた。食品開発に至る展開は若干唐突な印象も受けるが、その後の具体的なクラフトジンの開発ストーリーは秀逸だし、かかわった方々の臨場感あふれるコメントは感動的ですからある。商品開発に先立っているいろいろな先人の話を聞いたという行動力も素晴らしい。このジンを飲んでみたい!と思った。【日色】

●「虹の松原」を大切に守りたい、その価値を多くの人に届けたいという思いが、商品開発に挑む小宮さんのチャレンジから伝わってきた。小宮さんの積極果敢な姿勢がとても印象的であるし、ご自身の夢にもつながったと感じた。タイトル通り、あふれた思いをこめた商品開発、今後がとても楽しみです。【齋藤】

●松原の資源を活かした「虹ノ松原の香り」をリアルに感じられる食品開発へのあくなき挑戦と、努力の過程が記されている。ま

るで虹ノ松原で森林浴をしている気分にはさせてくれるような香りを再現したという、独創的な酒飲料の商品化にまでこぎつけたストーリーは説得力がある。故郷の宝を守り、こよなく愛する心を食品を通じ世界に発信した実行力は称賛に値する。【白井】

受賞者のコメント

小宮 妃奈

今回このような名誉ある賞をいただき、本当にうれしいです。受賞もそうですが、虹ノ松原や地域を守りたいという思いを少しでも全国に発信でき、3年間頑張ってきたと思っています。虹ノ松原で過ごした3年間はコロナとの戦いでした。さまざまな制限がかかる中で、自分にできることを一生懸命やろうと決め、微力ですが努力を重ねてきた時間には自信があります。これからも虹ノ松原を守り次の世代につないでいきます。